
魔の系譜

ヤンクック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔の系譜

【Nコード】

N8820P

【作者名】

ヤンクック

【あらすじ】

「魔法」

つい10年くらい前には魔法なんてどこかの「おとぎ話」「神話」「伝説」の現象のものと認識されてきた。

だが、世界各地で「世界樹」「クラヤミ」が発見されてからは話が大きく変わった。

世界樹は魔力を放出する能力があり、クラヤミは一般的には魔力を栄養源に活動する動物だった。

クラヤミにとって世界樹は必要不可欠な存在であり世界樹にとって

クラヤミは守護^{ガーディアン}だった。

人間が世界樹を発見し調査に乗り出すには時間はかからなかった。そして、研究の邪魔となるクラヤミを追い出そうとしたのが違った。

クラヤミは侵略してきたと怒り人間を襲うようになった。

そこで、政府はクラヤミに対抗するため、魔力を研究する機関として世界各地に魔術学園を建造した。

紅月学園はその中でも日本一の魔術学園である。

プロローグ

爽やかな朝、そして眩しい太陽。

そして、今日もけだるい俺……。

この紅月学園に来て二年目、すなわち今日から二年生だ。そして、魔法の実習も増える……

「今年度からこの紅月学園の土系統魔術の担当および貴方達の担任になる立花です。みなさんよろしくお願いします」

なんて憂鬱な考えをしているといつの間にか40代ほどの女教師が丁寧なあいさつをしている。長年の経験を感じさせる流れるようなあいさつだ。

「では、さっそくですが授業に入りたいと思います」
マジか。すっかり最初くらいやらんと。

「今日は錬金です。このように薬草と精霊の水を錬金すれば……このように回復薬を作ることが可能です。その他にも……」

駄目だ。始まって十分なのに昨日の寝不足のせいで起きてられん。もう眠くてまるで先生の声が子守唄をうたっているようだ。今年度の始まりく……らい……しっ……かり……

「……よう、九条君!!」

「……は、はい! 何でしょうか?」

びっくりした! いきなり起こさないでくれよ。起きてないといけないんだけど

「先生の前にある薬草と精霊の水を使って回復薬を作ってください。さっき説明したからわかりますね?」

くそ。こいつ寝てたの知っててこんな質問ぶつけてきたな。最初に良い先生だと思ったのに……俺の純情を返せ!!

とは言ったもののわからんしここは正直に

「すみま……」

「先生、こいつにあてたって無駄ですよ。何たってコイツできそこないですから」

「そうそう、何たって技術試験ほぼ赤点」

「だから、二つ名も血の九条だよな」

「まあ、血って言っても全部自分の血だけど!!」

高笑いする4人の男子生徒。さすがの俺でもムカツときたぞ。テメーら覚えとけよ。

「先生。今から錬金します」

精神を両腕に集中させる。そして手を調合物の前に差し出し魔力を送りだすと両方が淡い光をだし発光しだす。

「いい調子ですね。この調子ですよ」

フツ顔が弛み、褒められて気が抜けた瞬間……

ドガッーーーーーっん!!!!!!!!!!!!!!

なぜか薬草・精霊の水が爆発。教室はボロボロ、先生は吹っ飛んでる。そして俺は……

「コイツ、また爆発させやがった。いつもどうり血だらけだぜ」

そう爆発の中心にいた俺は、頭や腕やら足やらいたるところから血が吹き出ている。

あーもう駄目……

クラスの笑い声と罵声ともに不快な眠りに落ちた。

「魔法」

つい10年くらい前には魔法なんてどこかの「おとぎ話」「神話」

「伝説」の現象のものだと認識されてきた。

だか、世界各地で「世界樹」「クラヤミ」が発見されてからは話が大きく変わった。

世界樹は魔力を放出する能力があり、クラヤミは一般的には魔力を栄養源に活動する動物だった。

クラヤミにとって世界樹は必要不可欠な存在であり世界樹にとってクラヤミは守護^{ガーディアン}だった。

人間が世界樹を発見し調査に乗り出すのには時間がかからなかった。そして、研究の邪魔となるクラヤミを追い出そうとしたのが違った。

クラヤミは侵略してきたと怒り人間を襲うようになった。

そこで、政府はクラヤミに対抗するため、魔力を研究する機関として世界各地に魔術学園を建造した。

紅月学園はその中でも日本一の魔術学園である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8820p/>

魔の系譜

2011年1月9日00時44分発行